

6 留意事項に対する履行状況等

| 区 分 | 留意事項 | 履行状況 | 未履行事項についての実施計画 |
|-------------------------------|---|---|----------------|
| <p>認 可 時 (平成16年9月30日)</p> | <p>1. 既設大学の教育研究資源を有効に活用し、統合の趣旨・目的等が活かされるよう、設置者及び各大学間の連携を十分図りつつ、開学に向け、設置計画（教員組織、教育課程の整備等）を確実にかつ円滑に進めること。</p> | <p>平成15年9月より教学準備委員会を設置し、外部有識者を含め新大学の構想について検討してきたが、平成16年5月より、新たに西澤潤一学長予定者を中心として、学部長予定者等既設大学教員を構成員とする教学準備会議を設置し、引き続き教員組織、教育課程の整備等について開学に向けた取組みを進めてきた。教学準備会議の下には、教育課程、単位バンク、入試、大学院等各課題別の部会を設置し、より詳細な計画の策定を進めた。</p> <p>また、既設大学の学長（都立大学総長等）の教学準備会議等への参加により、既設大学の意見もふまえたうえで、教育研究資源の有効活用や円滑な学生の受入を進めてきた。</p> <p>H17.2.25-26 前期入試 H17.3.12 後期入試 H17.4.6 入学式 H17.4.11 授業開始 H17.4.18 履修申請</p> | |

| 区分 | 留意事項 | 履行状況 | 未履行事項についての実施計画 |
|----|---|---|----------------|
| | <p>2. 名称に「都市」を冠する「都市教養学部」の教育理念を一層明確にし、これにふさわしい特色を持つ体系的な教育課程の編成に一層の配慮をすること。特に分野横断型の「都市政策コース」や「都市教養プログラム」等、要となる科目群の教育内容について独自性が十分発揮されるよう、その充実を図ること。</p> | <p>都市教養の理念実現に向けて教学準備会議の下に教育課程・教務部会を設置し、体系的な教育課程の編成等について準備を進めた。</p> <p>特に英語教育、情報教育、都市教養プログラム・基礎ゼミナール、インターンシップについては、各準備チームを編成し、理念、教育課程、教育内容等についてより一層の充実を図るよう準備を進めた。</p> <p>また、都市政策コースについては、コース基幹科目の担当教員を中心に検討を進めるとともに、4月には新たに助手を採用し、特色のある教育プログラムの編成に向けて準備を進めている。</p> <p>都市教養プログラムについては、全学の教務委員会の下に都市教養プログラム部会を設け、学生に対する授業評価アンケートの結果も参考にしながら、科目群全体の体系について検討している。また、平成18年度からは3科目を追加し、さらに充実をはかった。</p> <p>都市政策コースについては、都市政策コース準備委員会を中心にカリキュラムの充実について検討を進め、科目構成の変更を行った。</p> <p>申請時の計画では1名だった都市政策コースの担当専任教員を3名に拡充し、教育体制を充実した。</p> <p>都市政策コースの担当専任教員を5名に拡充し、教育体制を充実した。</p> | |

| 区分 | 留意事項 | 履行状況 | 未履行事項についての実施計画 |
|----|--|--|----------------|
| | <p>3. 関係組織間の適切な連携の下、単位バンクシステムや学位設計委員会等の新たな試みが円滑かつ有効に機能するよう努めること。</p> | <p>教学準備会議の下に設置した単位バンク推進部会を中心に、具体的な運営体制・規程等を整備した。単位バンクの運営、学内調整等を担当する部門を学長室に設置するとともに、学位設計委員会の審議のための必要な調査・研究業務や、学生への履修相談を行う学修カウンセラー3名を新たに採用した。</p> <p>平成17年度後期には、単位バンクの事前認定科目として2大学2科目を登録した。</p> <p>また、学位設計委員会の検討に基づき、学外における活動の一部を「特定社会活動」という授業科目に位置付けて単位認定の対象とする制度を導入した。</p> <p>科目登録委員会での検討及び教育研究審議会での審議に基づき、全学的な合意の下、他大学等の授業科目の履修にかかる基本方針を策定し、他大学の授業科目をあらかじめ大学が推奨する場合と、履修した学生が申請してきた他大学の授業科目を認定する場合とについての基準を定めた。</p> <p>平成19年度は、この方針に基づき、単位バンクの登録科目数の増加や受講料負担の軽減を図るため、科目等履修生制度による個別的な科目登録だけでなく、他大学との協定に基づく科目の登録を行った。</p> <p>単位互換協定校における科目登録</p> | |

| 区 分 | 留意事項 | 履行状況 | 未履行事項についての実施計画 |
|-----|------|---|----------------|
| | | <p>(事前認定)の取扱方針を取りまとめるとともに東京慈恵会医科大学と単位互換に関する覚書を締結した。</p> <p>この結果、19年度は10名の学生が、本制度を活用して他大学の科目を履修し単位を修得した。</p> | |

| 区分 | 留意事項 | 履行状況 | 未履行事項についての実施計画 |
|----|--|--|----------------|
| | <p>4. 学生の選択の幅を拡大するコース制等を導入するに当たっては、大学設置基準第19条に掲げる教育課程の体系的な編成に十分留意すること。また、学生が科目等の選択を円滑に行えるよう、きめ細やかな履修指導体制の一層の充実を図ること。</p> | <p>各コース別の詳細な履修の手引を作成するとともに学部ガイダンスの実施により学生への詳細な情報提供を行った。また、履修相談については、従来の教員による履修指導に加え、学生の進路選択をサポートする学修カウンセラー3名を新たに採用した。各授業科目についても、学生の円滑な科目選択のため、詳細なシラバスを作成し、冊子作成やホームページへの掲載等を行った。</p> <p>なお、今後の新しいコースの設計については、各部局長を主要なメンバーとする学位設計委員会を中心に十分な審議を行う予定である。</p> | |
| | <p>5. 平成18年度開設に向けて構想されている新たな大学院については、新大学の趣旨・目的等にふさわしいものとなるよう十分配慮した上で、その構想を可及的速やかに検討し、示すこと。</p> | <p>教学準備会議の下に大学院検討部会を設置し、新大学の趣旨・目的等をふまえた新たな大学院の構想について十分な審議を行った結果、平成16年9月には、大学院検討部会「中間のまとめ」を策定し、大学内外へ提示した（内容については別紙のとおり）。</p> <p>現在、本構想の実現へ向けて教育課程等の詳細を検討しており、本年度7月には研究科・専攻の設置手続を行う予定である。</p> <p>平成17年7月、文部科学大臣あてに設置届出を行い、平成18年4月から、新しい構成の研究科・専攻を開設した。</p> | |

| 区分 | 留意事項 | 履行状況 | 未履行事項についての実施計画 |
|----------------------------|---|---|----------------|
| 設置計画履行状況調査時 (平成19年3月1日) | <p>統合の趣旨を活かすことをはじめ、教育目標・理念の実現に一層努めること。</p> | <p>平成17年4月の開学以来、様々な専門分野の学生が1年次にともに学ぶ基礎ゼミナールや都市教養プログラムなど特色ある基礎教養教育をはじめ、新しい大学の教育目標・理念を実現するための取組に全学をあげて取り組んできた。また、医療系と工学系の共同研究を進めるなど、統合のメリットを活かすことにも努めている。</p> | |
| | <p>専任教員の変更が多数あるので、当初の設置計画の履行に支障が生じないように専任教員を配置すること。</p> | <p>この間、計画した教育課程等を着実に実施し、学生の教育に支障を生じないように、専任教員の計画的な充員に努めてきた。この結果、現在、認可時点での完成時計画数を上回る数の専任教員を配置している。 (別紙参照)</p> | |